

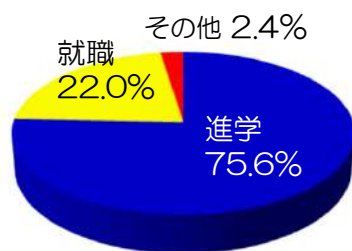
学科の特徴



生物工学科は農業を支えるバイオテクノロジーについての基礎知識・技術を学び、農業や関連産業における技術者や研究者を育成しています。植物、動物、微生物と扱う対象はコースごと異なりますが、生命に直接触れ、ミクロの世界からマクロの世界までを幅広く学び、科学的な視点を養います。



卒業後の主な進路



《主な進学先》

国公立大学3名合格！

【国公立大学】
帯広畜産大学（畜産学科）
新潟大学（農学部）
長野大学（社会福祉学部）

【私立大学ほか】
東京農業大学（生物産業、農学部）
愛知学院大学（薬学部）
松本大学（総合経営学部）
金沢工業大学（バイオ・化学部）
中部学院大学（教育学部）

農業系・動物関連への進学者が多いです！

長野県農業大学校
八ヶ岳中央実践大学校
新潟農業・バイオ専門学校
未来ビジネスカレッジ

《主な就職先》

会田共同養鶏組合、信州シキシマ
信州ミルクランド、新生酪農、本郷鶏肉

卒業生の声



平成29年度卒業生

中川海さん（植物バイオテクノロジーコース） 卒業後の進路 【進学：新潟大学（農学部）】

～ 南農は将来への道が拓けるところ！ ～

私は植物バイオテクノロジーコースに所属し、授業ではバイオテクノロジー技術の基礎知識や培養技術を学びました。また、校内の実験室にこもるだけではなく、わさびの採取や国営アルプスあづみの公園での外来植物の除去、稀少植物の還元植栽など、地域の方々との交流も行っており、その際には普段学んだ知識が役に立ちました。

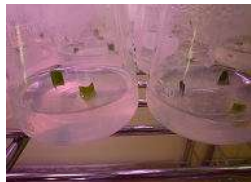
南農は、普通高校では学べない専門知識・技術の習得が可能であり、また生産物や加工品を東京で販売する実習や、収穫祭など自然の恵みに感謝するような体験もあります。これらの活動や経験を通して、コミュニケーション能力の向上を図ったり、命や農業の大切さについて学ぶこともできます。高校の3年間は、多くの行事や研究部活動に追われて多忙でしたが、今振り返ってみると充実した学校生活を送ることが出来たと思います。私にとっての南農は、貴重な経験を積み、自分が将来やりたいことを見つげられた大切な学び舎です。



動物バイオテクノロジーコースの生徒が飼育している肉牛

コースの紹介

植物バイオテクノロジー



植物の組織培養から順化（屋外栽培に向けての外環境への慣らし）のようす



希少植物の保全活動のようす

農業の主体となる植物について学びます。植物の栽培から組織培養まで幅広く学び、研究者はもちろん培養技術を持った生産者の育成を目指します。

動物バイオテクノロジー



ドッグトレーニング



ヒツジの毛刈り



フランスガモ商品発表会



フランスガモ食材研修会



ニワトリの採血実習

畜産動物愛玩動物の飼育管理や各種実験・実習を通し、動物の生理生態を学びます。また、畜産加工、販売実習、マーケティングを通して、生産から流通・販売まで幅広い知識を持った生産者の育成を目指します。

微生物バイオテクノロジー



栽培キノコの植菌のようす



栽培キノコの実験



オリジナル肥料の製造



分析実験のようす



微生物の培養方法と働きを活用する知識および技術を学びます。食品成分分析や環境土壌分析実験を通して、科学的な視野を養い、食の安全性に関する知識を身につけていきます。



生物工学科の生徒が取得できる主な資格

- 危険物取扱者(丙種・乙種全類・甲種)
- 土壤医検定(3級・2級)
- 日本農業技術検定(3級・2級)
- 毒物劇物取扱者
- 各種情報処理検定
- 初級バイオ技術者認定試験
- 愛玩動物飼養管理士(準2級・2級)
(動物バイオコースのみ)



卒業後の進路先（系統別）

進路	系統	コース名		
		植物	動物	微生物
就 専 門 学 校 職	園芸系	◎	○	○
	食品系	○	◎	◎
	バイオ系	◎	◎	◎
	医療・福祉系	○	○	◎
大 学 ・ 短 大	幼児教育系	○	○	
	農学・環境系	◎	◎	◎
	理学系	◎	◎	◎
	家政・栄養系			◎
	工学・建築系	○		
	教育系	○	○	○